

令和6年度 第2回公民館運営審議会資料

I 報告事項

1. 令和6年度 芦屋川カレッジ及び大学院
2. 春・夏の公民館講座等の実施状況について
3. 秋・冬の公民館講座の実施状況について
4. 講演会・公開セミナー
5. 公民館音楽会
6. 常設展示事業
7. 公民館ギャラリー
8. 夏休み子ども教室
9. にほんご学級
10. 兵庫県身体障害者学級事業
11. 公民館ホームページ・公式ライン活用状況等

II 協議事項

1. 公民館事業「知の循環」の課題と対応
2. 令和7年度 芦屋川カレッジ、芦屋川カレッジ大学院の募集要項
3. 令和7年度 春・夏の公民館講座、セミナー
4. 夏休み子ども教室の取組
5. 令和7年度 公民館音楽会
6. 常設展示事業
7. 令和7年度 阪神青い鳥学級、阪神くすの木学級

I 報告事項

1. 令和6年度 芦屋川カレッジ及び大学院

定員と受講生数

内容	コース名	定員	受講生数		
			男	女	計
芦屋川カレッジ第41期	日本文化コース	50	12	18	30
	世界文化コース	50	16	13	29
芦屋川カレッジ 聴講生	日本文化コース	50	18	36	54
	世界文化コース	50	21	32	53
芦屋川カレッジ 大学院17期	ヨーロッパ・アメリカ文化再考	100	40	65	105

【特記事項】

芦屋川カレッジのカリキュラムは文部科学省の基本方針および芦屋市教育振興基本計画に則り、策定しています。その中で、芦屋の歴史、文化、芸術の理解を深め、郷土への誇りと愛着が育まれるよう講義を計画し、今年度は国指定重要文化財のヨドコウ迎賓館100周年にあわせた見学会を実施しました。周辺の発掘に携わった芦屋市学芸員による発掘現場の説明が特に好評でした。大学院は「ヨーロッパ・アメリカ文化再考」を統一テーマとし、各分野に造詣が深い講師を迎え、文学、思想、芸術などについて学びました。見学会系の皆さまは統一テーマにあわせて、佐川美術館の北欧諸国のノルウェー、スウェーデン、フィンランドの三か国に焦点をあてた展覧会の見学を企画され、好評でした。

2. 春・夏の公民館講座
春の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募 者数	受講 者数	延べ 出席者数	全回 出席者数
春の開講記念講座 フランク・ロイド・ライトと ヨドコウ迎賓館 ライトから日本へ／日本から ライトへ	1回 4月6日	100	97	97	97	97
田辺真人先生の「文化の歴史」Part 2 9	全6回 4月18日, 5月16日, 6月20日, 7月11日, 8月29日, 9月19日	100	115	111	546	47
世界はニュースだけではわからない	全6回 4月20日, 5月25日, 6月22日, 7月6日, 8月3日, 9月28日	100	111	98	416	27
西洋美術史講座 バロック美術 —西洋文化の爛熟—	全3回 4月15日, 5月13日, 6月10日	100	146	105	266	66
日本史講座 おかねの日本史 —貨幣は誰 がつくってきたのか—	全2回 4月13日, 7月20日,	100	75	61	104	43
サイエンス講座 見えてきた新しい磁石の効果 —小さな磁石で都市鉱山の金 を採集する—	全2回 5月24日, 6月14日	100	62	46	79	32
芦屋市立病院公開講座	全3回 4月13日, 5月11日, 6月8日	各回 90	—	—	147	毎回、会 場で受付

夏の公民館講

講座名	回数・日時	定員	応募 者数	受講 者数	延べ 出席者数	全回 出席者数
夏の開講記念講座 フランク・ロイド・ライトと ヨドコウ迎賓館 —写真で見る産業遺産—	1 回 6 月 29 日	100	72	72	72	72
時空を旅する 歴史から見る源氏物語 後編	全 3 回 7 月 4 日, 8 月 22 日, 9 月 12 日	100	96	91	234	66
日本の近現代史講座 歴史を物語る学校資料 ～奈良女子高等師範学校附属 小学校の記録から～	全 2 回 7 月 13 日, 9 月 28 日	100	37	24	37	13
近現代文学 関西文化に育まれた文学 ～美術と建築の発展を支えた 人々～	全 2 回 8 月 19 日, 9 月 2 日	100	95	82	151	67
日本美術の魅力 蔦谷重三郎と黄金期の浮世絵	全 3 回 7 月 5 日, 8 月 9 日, 9 月 27 日	100	101	96	251	63
芦屋病院公開講座	全 3 回 7 月 13 日, 8 月 3 日	各回 90	—	—	147	毎回、会 場で受付

3. 秋・冬の公民館講座

秋の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募 者数	受講 者数	延べ 出席者数	全回 出席者数
秋の開講記念講座 学芸員が語るヨドコウ迎賓館 の魅力 —フランク・ロイド・ライト から温室跡の発掘調査まで—	1 回 10 月 19 日	100	61	61	61	61
田辺真人先生の「文化の歴 史」Part 3 0	全 6 回 10 月 17 日, 11 月 21 日 12 月 19 日, 1 月 30 日 2 月 20 日, 3 月 13 日	100	100	—	—	—

「世界はニュースだけではわからない」	全 3 回 10 月 26 日, 11 月 16 日 12 月 21 日	100	83	74	178	41
西洋美術史講座 イタリア・ルネサンス美術の魅力	全 3 回 10 月 7 日, 11 月 25 日 12 月 23 日	100	113	108	277	63
日本史講座 おかねの日本史―貨幣は誰がつくってきたのかパート 2―	全 2 回 10 月 5 日, 12 月 7 日	100	57	51	92	42
民俗学講座 民俗学入門	全 2 回 10 月 10 日, 11 月 7 日	100	84	77	140	63
サイエンス講座 微小な世界の物理法則―量子論の基礎から応用技術まで	全 2 回 11 月 2 日, 12 月 14 日	100	70	53	95	42
芦屋病院公開講座	10 月 12 日、11 月 9 日 12 月 14 日	各回 90	—	—	62	毎回、会場で受付

冬の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
芦屋病院公開講座	1 月 11 日、2 月 8 日 3 月 8 日	各回 90	—	—	—	—

【特記事項】

今年度の開講記念講座は国指定重要文化財ヨドコウ迎賓館竣工 100 周年記念にあわせて、春、秋、冬合計 3 回の講演会を開催しました。ライトと日本の関係、自然との調和を活かしたライトの設計、発掘調査など文化財の背景を知る貴重な講演内容でした。

大河ドラマに先駆けて企画した「日本美術の魅力 蔦谷重三郎と黄金期の浮世絵」は蔦屋重三郎の導入に始まり、喜多川歌麿、東洲斎写楽の生涯と浮世絵解説がなされ好評でした。サイエンス講座では量子力学の基礎から量子コンピュータの最新技術までを紹介。難解な理論を判り易く話され、熱心なサイエンス講座ファンが増えています。

4. 講演会・公開セミナー

事業名	実施日	参加人数
紙芝居と絵本の読み聞かせ、あきびんの中にスモールワールドを作ろう (こどもの読書週間ポスター展 関連イベント)	5月26日	13人
親子ひろば 夏のお話し会と作って遊ぼう	7月20日	15人
平和セミナー 女学生田辺聖子の戦争と青春	7月26日	20人
平和セミナー 大河朗読講演 流転の子 最後の皇女・愛新覚羅嫺生 一語り継ぐ歴史	7月31日	221人
平和セミナー 平和の光 絵本で灯す	8月31日	台風で中止
消費生活セミナー (共催 芦屋市地域経済振興課・公民館)		
デジタル遺品の探し方・しまい方・残し方	9月12日	28人
意外と知らないクリーニングの豆知識	2月6日	実施前
家庭教育セミナー (共催 芦屋市PTA協議会・公民館)		
子育て世代のための賢い税金戦略	11月29日	55人
親子ひろば「冬のお話し会と作って遊ぼう」	2月22日	実施前

【特記事項】

ルナ・ホールで開催した平和セミナー『流転の子 最後の皇帝・愛新覚羅嫺生』はノンフィクション作家で元ニュースキャスターの本岡典子さんによる朗読講演で、愛新覚羅嫺生さんの苦難に満ちた中国大陸流転の様子がつぶさに伝えられ、ホールの照明転換・音響効果もあり参加者の感動を呼びました。『女学生田辺聖子の戦争と青春』では数年前公開された田辺聖子さんの日記に基づく戦争体験が紹介されました。

5. 公民館音楽会

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数
「森の音、人の暮らしの音～ポーランドらの便り」湊谷亜由美（ピアノ）、吉村麻衣子（フルート）	全1回 5月11日	100	209	127
「ピアノ x クラリネット x コントラバス x BRASIL！」中島徹（ピアノ）、鈴木孝紀（クラリネット）ほか	全1回 6月29日	100	263	115

「珠玉のバロックからロマン派の名曲まで」村田隆子（ヴァイオリン）、武井泉（ピアノ）ほか	全1回 9月14日	100	137	116
「フランス音楽とバレエの世界」藤井真理子（バレエ）、芦屋大学経営教育学部バレエコース	全1回 10月5日	100	184	124
「晩秋のジャズ」岩佐康彦（ピアノ）、荒玉哲郎（ベース）、東敏之（ドラム）	全1回 11月16日	100	228	120

6. 常設展示事業

「こどもの読書週間ポスターデザイン展」	4月24日～5月29日
芦屋大学図書館稀観書展覧会 第3回「韓国の文化財」	6月27日～7月7日
『流転の子 最後の皇帝・愛新覚羅溥儀』語り継ぐ歴史展	7月24日～8月4日
「平和の絵本パネル展」	8月17日～8月31日
芦屋大学図書館稀観書展覧会 第4回「書聖王羲之について」	9月6日～9月18日
「パリとバレエ パリのバレエの歴史」 (芦屋大学バレエ教師過程ディプロマコース協力)	9月26日～10月9日
ヨドコウ迎賓館	10月16日～10月28日
ヨドコウ迎賓館竣工100周年記念事業	12月3日～12月16日
1月以降閉館	

7. 公民館ギャラリー

「あしやY0 写楽会作品展示会」	4月18日～4月20日
「芦屋さくらまつり写真コンクール」	6月5日～6月10日
「淡遊会」	6月12日～6月17日
「魔法の手」	7月10日～7月15日
「写楽会 写真展」	7月12日～7月17日
「芦屋郵趣会」	10月11日～10月14日
「デジイチ会」	10月30日～11月4日
「コミスク展」	11月20日～11月25日
「OLIVE 絵画作品展」	11月27日～12月2日
「芦風会展示」	12月18日～12月23日
1月以降閉館	

8. 夏休み子ども教室

講座名	募集人員	応募者数	受講者数
① 消防署を見学してみよう！（午前）	30	24	24
② ゲーム感覚で楽しく遊びながら体力づくり	30	22	16
③ てん刻教室「名前の一字印などを作ろう」（午前）	16	41	22
④ てん刻教室「名前の一字印などを作ろう」（午後）	16	32	25
⑤ 絵画教室 ～構図のお勉強～	32	76	32
⑥ オカリナ教室(午前)	30	49	27
⑦ 水彩画教室「ひまわりを描こう」（午前）	24	46	28
⑧ 水彩画教室「ひまわりを描こう」（午後）	24	39	29
⑨ 古代にタイムスリップ「まが玉のアクセサリ作り」午前	16	43	15
⑩ 古代にタイムスリップ「まが玉のアクセサリ作り」午後	16	21	15
⑪ 折り紙を楽しみましょう	25	47	27

【特記事項】 今回の夏休みこども教室では、消防署を訪問し、日常業務や訓練の様子を見学しました。また、消防車の種類やその用途についての解説も行われ、子どもたちは見慣れない道具や役割について、熱心に質問をしながら話を聞いていました。見学中に実際の出動があり、その緊迫した様子に触れる貴重な体験もできました。

また前回に引き続きご協力いただいている芦屋川カレッジ学友会の皆さまによる講座を増やし、さらなる分野にもご協力いただきました。学友会には多彩な経験や特技を持つ方々が多く、絵画や折り紙などを通じて、子どもたちに知識や技術を伝えてくださいました。

地域の知恵や特技をつなぎ、「夏休みこども教室」は異なる世代が交流する場ともなっています。今年度も、てん刻教室の全作品は春の日本篆刻家協会学生展（原田の森ギャラリー）に出展されます。

9. にほんご学級

講座名	回数	実績
にほんご学級	年間全 45 回 毎週木曜日	20 名受講

【特記事項】11月28日に市民向け国際交流イベントとして「にほんご学級」の生徒さんによる「太極拳と中国茶の体験会」を開催しました。広報あしやにて参加者募集し、一般から21名参加（一般定員20名で募集）、にほんご学級生徒・その友人、支援者で総勢50名以上となり盛況でした。

その他、毎週のレッスンの他、七夕やスピーチ大会などを教室で開催。日本語のスキル上達のみならず、生徒同士・支援者との交流により異国に住むことの不安の解消にもつながっているようです。

10. 兵庫県身体障害者社会学級事業

義務教育終了年齢以上の、障害者本人や、地域のニーズを踏まえた講座を実施し、障害者の社会参加・活躍を一層促進するため、兵庫県が当該運営委員会に事業を委託している。

10. 1. 令和6年度 阪神青い鳥学級南支部芦屋教室

本年度は芦屋市担当のため、学級生のニーズを把握し、連携団体と効果的なプログラムを策定するための連絡・調整と支援体制づくりを進めてまいりました。

(1) 概要 芦屋市、西宮市、尼崎市に在住の視覚障害者を対象とした教室で、今年は芦屋市が幹事。定員尼崎市10人（実績9人）西宮市10人（4人）芦屋市10人（8人）

(2) 内容

兵庫県教育委員会の指定する内容と、障害者グループの要望との調整を、会議を重ね議論し、次のように決めました。

9月5日 芦屋市民センター 開講式

- ① 教養講座：「ことわざの世界によろこそ」武庫川女子大学教授 佐竹秀雄
- ② やさしICT講座：スマホの便利な使用用途とスマホ操作を補助する福祉用具

10月24日 人と防災未来センター

- ③ 社会見学 「震災追体験」「震災の記憶」「防災・減災体験」

11月30日 芦屋市民センター

- ④ 古典落語
- ⑤ 音楽講座 ピアノ演奏 ハンドベル演奏

10. 2. 令和6年度 阪神くすの木学級 尼崎教室（定員30人 芦屋市実績1人）

(1) 概要 阪神間の7市1町（芦屋市、西宮市、尼崎市、伊丹市、川西市、宝塚市、三田市、猪名川町）に在住の聴覚・言語障害者が対象の教室で、今年は尼崎市が幹事。

(2) 内容

9月29日（日）10月14日（月）11月3日（日）

会場；尼崎市立歴史博物館、大庄北生涯学習プラザ

尼崎の歴史、バルーンアート体験、ボッチャ体験、ドローン体験

芦屋市からの受講生は1名のみであった。情報を必要とする人に届ける工夫が必要。

1 1. 公民館ホームページ・公式ライン活用状況等

1 1. 1. 公民館ホームページ

ホーム・ページを7月にリニューアルしました。公民館事業の公開講座・セミナー・芦屋川カレッジ・大学院等の生涯学習のプログラムの紹介のみならず、芦屋市主催のルナ・ホール事業も含め、芸術・文化観賞の情報を提供しています。また各種申し込みもホームページから可能にいたしました。

閲覧者数は暫時増加しており、10月24名、11月618名、12月2,205名、1月1,719名となっております。

1 1. 2. 公式ライン活用状況

弱点であった広報・PR活動の増強を図り、芦屋市立公民館の公式ラインアカウントを開設しました。ラインは高齢者にも広く使われており、日々のコミュニケーションに活用されているケースが多く、ラインを頻繁に確認していると考えられるため、情報を迅速に届けることができます。さらにライン友だちになった個人のアカウントに対し、URLを張り付けた情報を届けることにより、今まで辿り着くことが難しかったページへのアクセスが容易になり、さまざまな情報を届けることができるようになりました。

公式LINEアカウントでは、個別のメッセージを受信しない設定になっており、お客様の個人情報を得ることはありません。また友だち登録している相手に対して簡単なステップで一斉にメッセージを配信することができ、メールに比較し、誤送信や設定ミスなどによる個人情報が流出の可能性が少なくなりました。

1月末現在 公民館公式LINE登録者数 188名

芦屋川カレッジ公式LINE登録者数 80名

新着イベント、チケット販売状況等を1か月当たり、4,500通ほど発信しています。

ラインおよびメールでのチケット販売は、クリスマスコンサート 61.3% 名曲コンサート 57.5% に達しております。

1 1. 3. キャッシュレス決済対応

昨年7月にキャッシュレス決済ができるよう、市民センターで導入されているステラパック端末（三井住友銀行）を導入し、公民館でのチケット販売等は、キャッシュレス対応が可能になりました。

Ⅱ 協議事項

1. 公民館事業「知の循環」の課題と対応

これまで公民館では業務受託事業者（株）河内厚郎事務所の強みを生かし、芦屋市の指定に基づく各種セミナー、音楽会、歴史・文化・芸術などの講座・講演会を実施してきました。その内容は市内受講生のみならず、講師、近隣他市受講生から高い評価を受けています。

しかし、残念ながら限られた地域住民の参加に留まっており、学びの成果を地域に還元するという仕組みが充分機能しているとは言えません。

そこで社会教育行政の一翼を担う公民館として、「幅広い世代の市民が、知の循環という学びのプロセスを通して、地域づくりの主体として各コミュニティで生じている課題を解決していく」という目標に貢献すべく、限られた資源の中での方策を検討しています。

その一環として、来年度は従来の事業に加えて、芦屋川カレッジ、公民館講座、セミナーなどで街づくりのための課題を知り、自主活動のきっかけとなる講座を企画します。

（１）芦屋市の課題を知るための講演会・セミナーの開催

「芦屋市総合計画」「芦屋の景観まちづくり」「地域の防災」「環境保全」
「芦屋の暮らし講座」など。

（２）社会貢献・手法について知るための講演会・セミナーの開催

「しあわせが循環するウェルビーイングなまちを育てる」「みんなでかかわるまちづくり」（芦屋川カレッジ公開講座）など。

（３）多世代が行き交い、出会うことができる公民館にするため、夏休みこども教室、親子ひろばなどの催しの拡充。

（４）芦屋市在住の外国人が抱えている課題を知り、グローバルな意識を育てるため、「にほんご学級」主催イベントによる市民との交流の場の提供。

2. 令和7年度 芦屋川カレッジ、芦屋川カレッジ大学院の募集要項

芦屋川カレッジの学習プログラムは、「文部科学省・長寿社会における生涯学習の在り方について（素案）」および「第3期芦屋市教育振興基本計画」に基づいて策定し、必修コースでは生活基礎能力・地域を学ぶ・一般教養・社会貢献活動など、選択コースでは日本文化・世界文化について学びます。オリエンテーションではグループ活動の意義と、卒業後はまちづくり活動などに貢献することが期待されていることなどを説明します。

芦屋川カレッジ大学院は、統一テーマを「江戸時代～近代化前夜の日本～」とし、現代日本の豊かな暮らしの礎となったとなった人物・出来事を取り上げます。
それぞれの入学案内、学習計画表を添付いたします。

1月末現在 カレッジ申込者は17名（紙の申込3）、聴講生申込者37名（紙の申込み18）大学院は2月より募集開始しています。芦屋川カレッジの募集については、広報あしや1月号に大きく（ページの約40%）掲載していただき、市内各所掲示板ポスター掲示、各施設での募集要項懸架などしていますが、今年も応募者は少数に留まっています。

カレッジの運営方法まで踏み込んだ対応が必要になるかもしれません。

3. 令和7年度 春・夏の公民館講座、セミナー

春の講座 予定

講座名	講師	回数・日時	定員
春の開講記念講座 会下山遺跡からみた近畿弥生社会 ～邪馬台国問題もからめながら～	禰亙田佳男 大阪府立弥生文化博物館 館長	1回 4月5日	100
世界はニュースだけではわからない	毎回、テーマごとに 講師をお招きする	全6回 4月19日、5月24日 6月21日、7月5日 8月30日、9月20日	100
田辺真人先生の「文化の歴史」 Part31	田辺真人 兵庫の津ミュージアム名誉館長	全6回 4月17日、5月15日 6月19日、7月17日 8月21日、9月18日	100
西洋美術史講座 北方ルネサンスの魅力	宮下規久朗 神戸大学教授	全3回 4月28日、5月12日 6月23日	100
日本史講座 おかねの日本史 ―貨幣は誰がつくってきたのか パート3―	高木久史 大阪経済大学教授	全2回 5月10日、6月7日	100
論語講座 人生100年時代を豊かに生きる 論語の知恵	山泰幸 関西学院大学教授	全2回 5月8日、6月12日	100
サイエンス講座 がんの治療―特に、その放射線の 役割、画像検査と放射線治療	小泉雅彦 野崎徳洲会病院放射線科部長	全2回 4月26日、6月7日	100
芦屋病院公開講座	4月 内科 河野医師 5月 内科 安見医師 6月 消化器内科 瀬戸医師	全3回 4月12日、5月10日 6月14日	100

夏の講座 予定

講座名	講師	回数・日時	定員
時空を旅する講座	菅原美文 城郭研究家	全3回・未定	100
近現代文学	箕野聡子 神戸海星女子学院大学	全2回・未定	100
日本美術史	菅原真弓 大阪公立大学教授	全2回・未定	100
芦屋の歴史	国際文化推進課 学芸員	全2回・未定	100
芦屋病院公開講座	7月 循環器内科 北川医師 8月 薬剤科 見田薬剤師	全2回 7月12日, 8月2日	100

セミナー

講座名	回数・日時	定員
芦屋大学稀観書展解説セミナー 第5回「世界の織りと染め」 第6回「宗教の書」 第7回「神戸の画家、神戸の絵」	5月22日・9月・1月	100
人権セミナー 日本の多文化化 — オーストラリアの変化から考える	5月29日	100
平和セミナー 「青い目の人形」が伝える戦争と平和	7月25日	600
平和セミナー 平和の光 絵本で灯す	8月	
家庭教育セミナー	全2回	100
消費生活セミナー	全2回	100

4. 夏休み子ども教室の取組

夏休み子ども教室開催の理念を明確にして、「地域で子どもを積極的に育てる」ことに取り組む公民館としたい。「子どものため」という共通の目標に向かって、人的ネットワークを生かし、公民館で学んだ成果を活かすボランティア動を促し、多世代が行き交う公民館とする。その結果、さまざまな大人との出会いは、大人と接する機会が激減している子どもたちのコミュニケーション能力の向上にもつながる。

また、「実験・実習や体験等を通じた学習」は学校教育だけで実現することは難しく、多くの経験を通じてさまざまな知識や技術・技能をもつ地域住民等の支援により、実現していきたい。

「子どもたちのため」という活動は多くの人たちの理解が得られやすく、活動を通じて共に汗を流して形成された人間関係は、次のまちづくり活動の原動力となることも期待される。

そのような理念のもとに、以下の教室の開催を進めている。

講座名	講師	回数・日時	定員
てんこく教室	坂本舜華	7月26日午前・午後	50
まが玉作り教室	芦屋市国際文化推進課	7月30日午前・午後	32
水彩画教室	芦屋川カレッジ学友会	8月6日午前・午後	48
折り紙教室	芦屋川カレッジ学友会	8月7日午前	25
絵手紙教室	芦屋川カレッジ学友会	8月7日午後	25
科学教室	学友会・くらしか関西	1回・未定	30
運動教室	坂井佐依	8月8日午前	30
読書感想文の書き方	川尻葉子	8月2日午前	20組
食育教室	くら寿司・明治など	1回・未定	30
音楽教室 作曲をしてみよう	坂田真行	1回・未定	30
手話教室	兵庫県聴覚障害者協会	1回・未定	30
万博にいてみよう (候補)			
親子でヨガ(候補)			
地球環境(プラスチック) (候補)			

5. 公民館音楽会（年間5回）

講座名	回数・日時	定員
「春風が織りなす景色～フルートとハープ」 深江亮太（フルート）、上田あづ紗（ハー プ）	全1回 5月24日	100
「ソプラノ サマーコンサート（仮題）」 十鳥可奈子（ソプラノ）、信多仁子（ピア ノ）	全1回 7月12日	100
「ヴィオラ・ダ・ガンバとバロック・ヴァイ オリンによるバロック時代の音楽（仮題）」 内藤謙一（ヴィオラ・ダ・ガンバ）ほか	全1回 10月11日	100
「花井結ヴィオラコンサート（仮題）」 花井結（ヴィオラ）ほか	全1回 11月以降	100

上記のほか、令和7年度内にあと1回、全部で5回を予定

公民館音楽会特記事項

芦屋市在住、出身者を中心とした演奏家により、クラシック音楽だけでなく多様なジャンルの音楽の鑑賞機会を設けるよう心がけています。また、トークや解説を交えて音楽を身近に楽しめるものにしています。

6. 常設展示事業

「こどもの読書週間ポスター展」	4月23日～5月29日
芦屋大学稀覯書展	
第5回「世界の織りと染め」	5月21日～6月4日
第6回「宗教の書」	9月
第7回「神戸の画家、神戸の絵」	1月
平和の絵本パネル展	8月

7. 令和7年度 阪神青い鳥学級，くすのき学級

令和7年度 阪神青い鳥学級尼崎教室

概要 芦屋市、西宮市、尼崎市に在住の視覚障害をお持ちの人が対象の教室で、兵庫県教育委員会が、兵庫県青い鳥学級運営委員会に委託し、「阪神青い鳥学級南支部芦屋教室運営委員会」を設立し、事務局運営をすすめる。

日時・会場は未定

令和7年度 阪神くすのき学級宝塚教室

概要 阪神間の7市1町に在住の聴覚・言語障害をお持ちの人が対象の教室で、兵庫県教育委員会が、兵庫県くすのき学級運営委員会に委託し、「阪神くすのき学級尼崎教室運営委員会」を設立し、事務局運営をすすめている。